

「スポーツの力未来に」

大館市協 会 80人で70周年祝う



大館市スポーツ協会（青柳正隆会長）は2日、同市有浦のプラザ杉の子で創立70周年記念式典を開いた。協会員や市の関係者など約80人が出席。地域スポーツの発展に寄与した19個人4団体を表彰して節目を祝った。

同協会は1951年4月に「大館市体育協会」として創立。83年に財団法人に移行した。法人法の改正で2012

大館市スポーツ協会の創立70周年記念式典（大館市有浦のプラザ杉の子）

年には一般財団法人となり組織を改変した。本年6月に「大館市スポーツ協会」に改名。70周年の節目を迎えた。加盟団体は24団体で会員総数は2500人を超える。

青柳会長は「スポーツの力を未来に」をスローガンとし、これまで当協会の発展にご尽力された皆さんの意思をしっかりと受け継ぐ。地域スポーツの一翼を担う自覚を持ち、今以上に努力することを誓う」などと式辞。

福原淳嗣市長の祝辞や祝電披露に続き、表彰伝達を行った。

特別貢献賞を受賞した前会長の宮越雅己さんが、受賞者を代表してあいさつ。「市の競技団体の要としてさまざまに連携を図りながら、ジュニアからシニアまでの育成と同時に、市民の体力向上や健康

維持のため、大いに支えていただきたい」などと謝辞を述べた。

貢献賞には前副会長の能登屋忠さん、秋山慶紀さん、田中良男さん、元専務理事の大里隆哉さん、丸岡克男さんを選び表彰した。

また、同協会の運営と広報事業に協力したとして、東光コンピュータ・サービス（藤盛公之社長）、北鹿新聞社（田中厚社長）、ニューデジタルケーブルテレビ大館ケーブルテレビ（岩澤恒憲所長）、大館市文教振興事業団（日景省蔵理事長）、シンボルマークを作成した畠山貞幸さんに感謝状を贈った。

花田秋道さん（大館市ソフトボール協会）、尾山芳悦さん（大館市ユニカール協会）に感謝状を贈った。

所属する各協会が推薦した小田春幸さん（大館スキークラブ）、菅原正年さん（大館水泳協会）、本多有子さん（大館ライフル射撃協会）、月居裕二さん（大館市体操協会）、小林敏明さん（大館市バスケットボール協会）、岸肇さん（大館市陸上競技協会）、相馬勝子さん（大館マスタース陸上連盟）、花岡有一さん（大館テニス協会）、菅原雅博さん（大館市ウエイトリフティング協会）、小池仁さん（大館北ターゲット・バードゴルフ協会）、